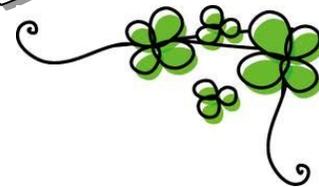


チーム医療で役立つ歯科の知識

摂食・嚥下障害と口腔ケア



摂食・嚥下障害の仕組みとともに、安全なリハビリテーションを行うために、摂食・嚥下障害の患者さんへの基本的な対応について学習してみませんか？

1. 今なぜ摂食・嚥下障害か
摂食・嚥下障害の症状 リハビリテーションで改善
2. 口腔ケアの具体的方法
食事のできる口をつくる
3. 摂食・嚥下療法の実践
摂食・嚥下訓練 食環境の改善・指導



日 時：10月28日（日）

午後1時30分～午後4時30分

場 所：パルティール とちぎ男女共同参画センター 研修室301
宇都宮市野沢町4-1 TEL:028-665-7700

講 師：小澤 章氏

昭和大学口腔衛生学教室兼任講師 歯学博士
山梨県甲州市開業

参加費：無料

定 員：100名（定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます）

参加をご希望される場合は、参加される方の氏名および職種をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

- | | |
|------|-------------------|
| ① 氏名 | 医師・歯科医師
その他（ ） |
| ② 氏名 | 医師・歯科医師
その他（ ） |
| ③ 氏名 | 医師・歯科医師
その他（ ） |
| ④ 氏名 | 医師・歯科医師
その他（ ） |
| ⑤ 氏名 | 医師・歯科医師
その他（ ） |

医療機関名
施設名など

【講師よりメッセージ】

私は現在診療所での外来診療のかたわら、老人施設、居宅、地域中核病院療養型病床への訪問診療、リハビリテーション病院において摂食・嚥下リハビリテーションを行っています。その訪問診療の多くは、歯科衛生士と協働した口腔ケアで、必要に応じて病院・施設の看護師、言語聴覚士と連携した摂食・嚥下リハビリテーションを行っています。

摂食・嚥下リハビリテーションを施行するにあたり、まず行う事は口腔ケアにて食事のできる口を作る事です。そして次に嚥下機能に大きく影響する姿勢、食形態などが関係する食環境の改善・指導です。食環境を整えるだけでも、機能は大きく改善し、誤嚥を回避する事が可能になります。

今回の講演では、口腔ケア・誤嚥・食環境に関する話題を中心に、話を進めて行きたいと思っております。